

# 付着生物ラーバ情報

## ユウレイボヤラーバの本格的な出現が始まりました

### 1 ラーバ等の出現状況

ラーバ等の調査地点は図1、出現数は表1のとおりです。

#### (1) ユウレイボヤ (通称: ハナ)

ラーバは10月18日に奥内沖で0.8個体/m<sup>3</sup>見られました (表1、図2)。

#### (2) サンカクフジツボ (通称: アカガキ)

ラーバは10月12日に奥内沖で7.5個体/m<sup>3</sup>、10月18日に奥内沖で8.3個体/m<sup>3</sup>、久栗坂沖で1.1個体/m<sup>3</sup>見られました (表1、図3)。

#### (3) ムラサキイガイ (通称: カラスガイ、シュリ)

ラーバは10月12日に久栗坂沖で0.6個体/m<sup>3</sup>、10月18日に奥内沖で1.7個体/m<sup>3</sup>、久栗坂沖で2.2個体/m<sup>3</sup>、川内沖で0.8個体/m<sup>3</sup>見られました (表1、図4)。

#### (4) その他

アミクサの小枝は10月12日、10月18日に奥内沖で1.7個体/m<sup>3</sup>見られました (表1)。

キヌマトイガイのラーバ、オベリア類のクラゲ

は見られていません (表1)。

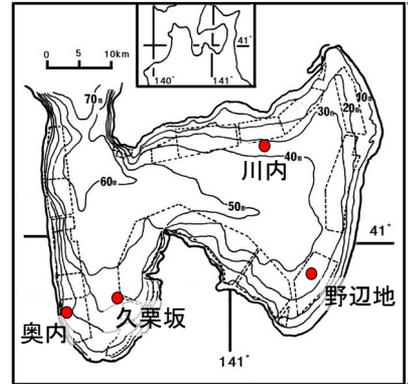


図1 ラーバ調査地点

表1 ラーバ等の出現状況

単位: 個体/m<sup>3</sup>

| 調査地点 | 調査月日     | ユウレイボヤ | サラホヤ | キヌマトイガイ | ムラサキイガイ | サンカクフジツボ | オベリア類<br>クラゲ | アミクサ<br>小枝 |
|------|----------|--------|------|---------|---------|----------|--------------|------------|
| 奥内沖  | R3.10.12 | 0.0    | 0.0  | 0.0     | 0.0     | 7.5      | 0.0          | 1.7        |
|      | R3.10.18 | 0.8    | 0.8  | 0.0     | 1.7     | 8.3      | 0.0          | 1.7        |
| 久栗坂沖 | R3.10.12 | 0.0    | 0.0  | 0.0     | 0.6     | 0.0      | 0.0          | 0.0        |
|      | R3.10.18 | 0.0    | 0.0  | 0.0     | 2.2     | 1.1      | 0.0          | 0.0        |
| 野辺地沖 | R3.10.12 | 0.0    | 0.0  | 0.0     | 0.0     | 0.0      | 0.0          | 0.0        |
|      | R3.10.18 | 0.0    | 0.0  | 0.0     | 0.0     | 0.0      | 0.0          | 0.0        |
| 川内沖  | R3.10.18 | 0.0    | 0.0  | 0.0     | 0.8     | 0.0      | 0.0          | 0.0        |

※久栗坂・川内沖は実験漁場内

### 2 今後の見込み

**ユウレイボヤ**は水温が20℃以下に低下すると産卵します。現在、陸奥湾内の中層水温は19℃前後になったので、**これからラーバの出現と付着が増加**していくものと思われます。未分散のパールネットにユウレイボヤが多く付着している地区では、親ボヤを減らすために分散作業を早めに進めてください。また、ユウレイボヤは**深いところで多く付着**することが分かっているので、施設を沈めすぎないようにしましょう。

**ムラサキイガイ**ラーバは4~7月まで出現していたので、稚貝および耳吊り貝に小さい個体が多く見られる可能性があります。が、**秋から冬生れのラーバの付着はほとんどない**ことが分かっています。

**サンカクフジツボ**の付着直前のラーバが少し見られますが、付着はほぼ終了です。殻長1mm未満の**小さい個体は稚貝分散時に選別機を用いることで大量に落ちるので**、分散作業を早めに進めましょう。

**アミクサ小枝の本格的な出現は12月以降、オベリア類とキヌマトイガイの付着は年明け**になるものと思われます。

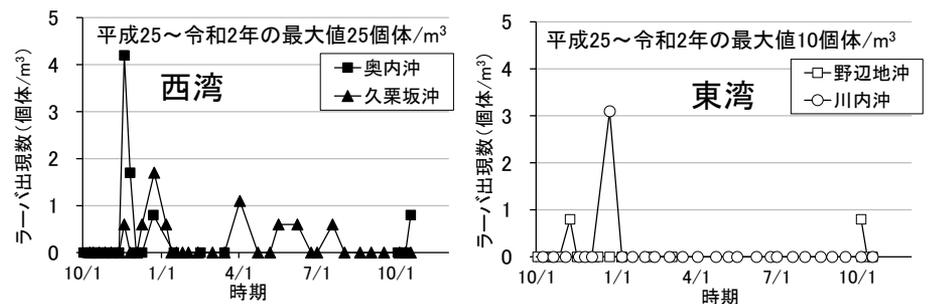


図2 ユウレイボヤラーバ出現数の推移 (令和2年10月~令和3年10月)

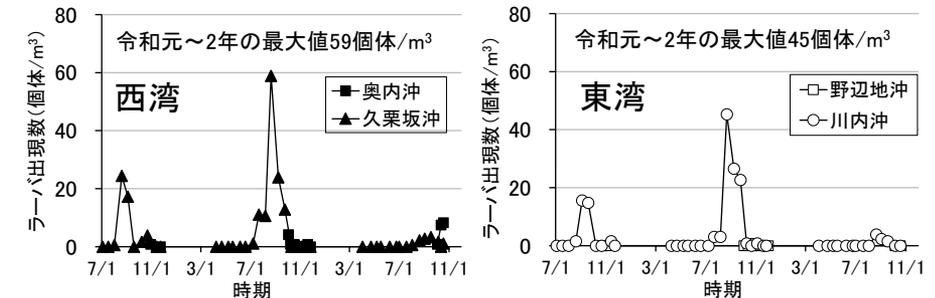


図3 サンカクフジツボラーバ出現数の推移 (令和元年7月~令和3年10月)

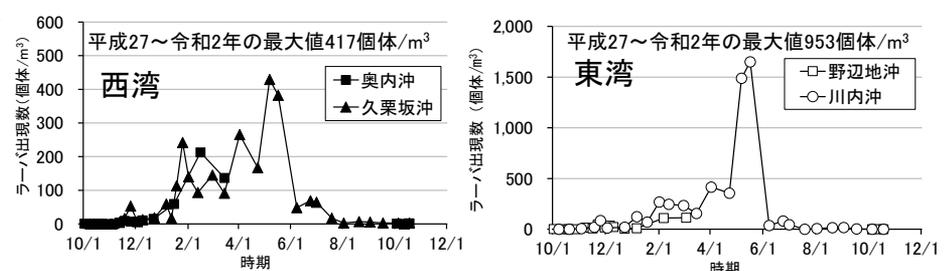


図4 ムラサキイガイラーバ出現数の推移 (令和2年10月~令和3年10月)

